

1-7 ポラロックⅡ型



特長

- 従来の積(間知)ブロックと比較し、1㎡当たり2個使いのため施工性に優れ、省力化が図れます。
- ポーラス構造壁厚35cmの積ブロックで、従来の積(間知)ブロックと同等以上の壁体質量と強度を有しています。
- 本体と同じ模様の「調整パネル」があるので、天端や延長調整の現場打ちによる調整部分の景観性に優れています。
- 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」護岸ブロック留意事項※1の表面の景観パターンを改良し、ブロック目地と石模様の目地が区別しにくい配列および目地幅とすることで、景観と調和するパターンとしました。

※1 護岸ブロック留意事項

項目	判定	備考
明度	○	3.5 (6.0以下)
彩度	○	無彩色
テクスチャー	○	43(11以上)
パターン	○	素材の大きさ20cm~40cm

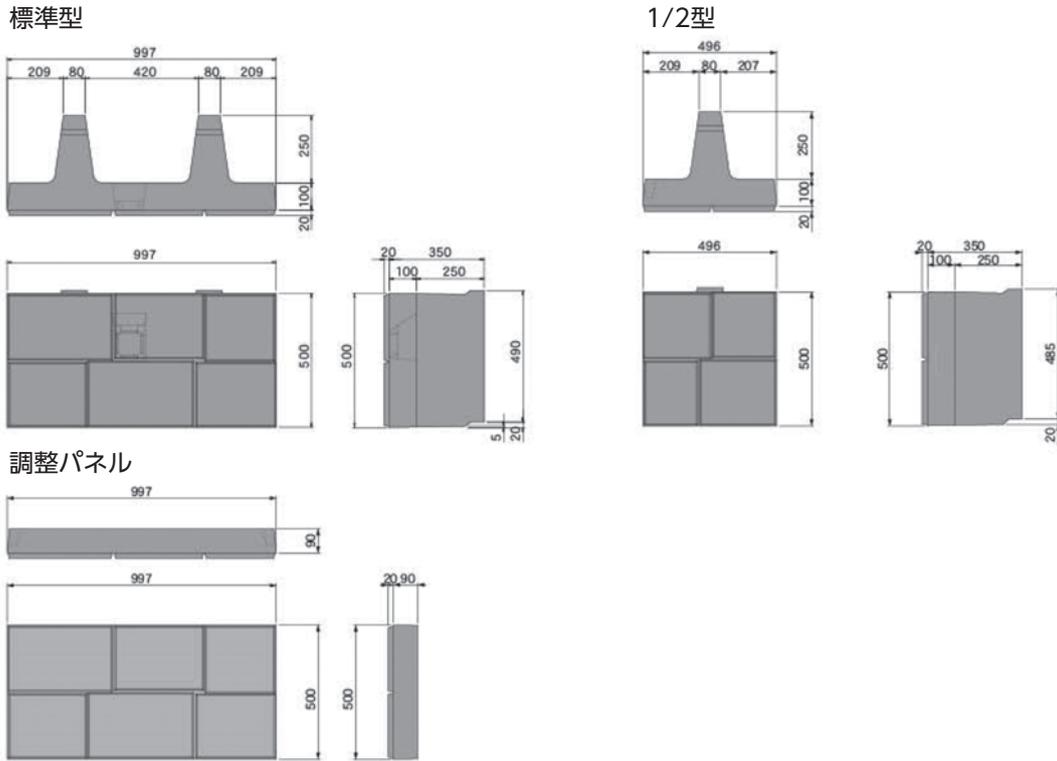


施工例

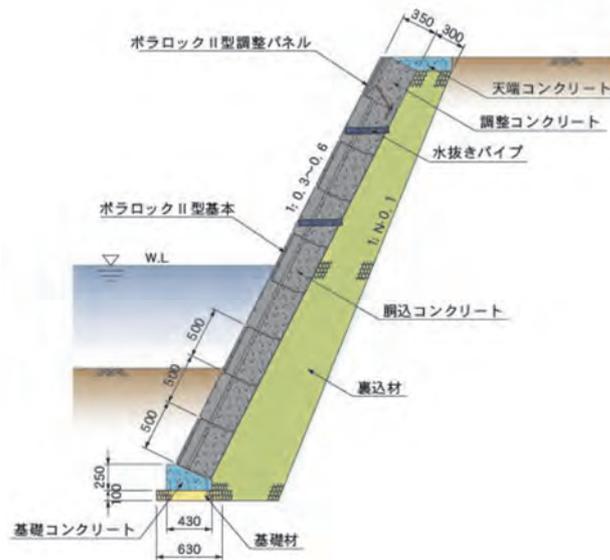


ブロック目地と石模様の目地が区別しにくい配列および目地幅とすることで、景観と調和するパターンとしました。

単体図



標準断面図



呼び名	参考質量 (kg)	寸法 (mm)	胴込コンクリート (m ³ /個)	使用個数 (個/m ²)	備考
標準型	181	500 × 997 × 350 (+20)	0.098	2	
1/2型	91	500 × 496 × 350 (+20)	0.049	4	
調整パネル	109	500 × 997 × 70 (+20)	0.132	2	

製品明度

平均明度	3.5
------	-----

製品テクスチャー

輝度の標準偏差	43
---------	----